

2011年3月期 決算補足資料

1. 決算概観	P. 1
2. 2011年3月期 業績のポイント	P. 2
3. 2011年3月期 業績の状況	P. 3
4. 主な子会社の業績と予想	P. 4
5. 開発品一覧	P. 5～7
6. 2011年3月期 セグメント情報	P. 8
7. 損益計算書の概要	P. 9～10
8. 貸借対照表の概要	P. 11
9. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	P. 12
10. 主要製品売上の状況	P. 13
11. 主な業績項目の推移	P. 14
12. 杏林製薬単体資料	P. 15～18

2011年5月11日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社



2011年3月期 決算概観(連結)

2011年3月期 連結業績(実績)

【売上高】 医療用医薬品では、(国内)新医薬品において主要製品の普及拡大に努め、薬価引下げの影響を上回る数量ベースでの伸びを実現し、売上増となりました。また、後発医薬品において保険調剤薬局市場での販売等が増加し、前年を上回る実績となりました。その結果、連結売上高は1,041億円(前年比4.3%増)となり、過去最高の売上高となりました。

【利益】 売上高の増加、売上原価率の低下により売上総利益が増加し、研究開発費など販売費及び一般管理費の増加を大幅に上回りました。その結果、営業利益は164億円(前年比24.0%増)、当期純利益は109億円(前年比23.5%増)となり、2期連続で過去最高益を更新しました。

2012年3月期 連結業績(予想)

【売上高】 (海外)新医薬品の売上減少が予想されるものの、引き続き(国内)新医薬品における主要製品及び後発医薬品が伸長し、売上高は1,065億円(前年比2.3%)と増収を見込みます。

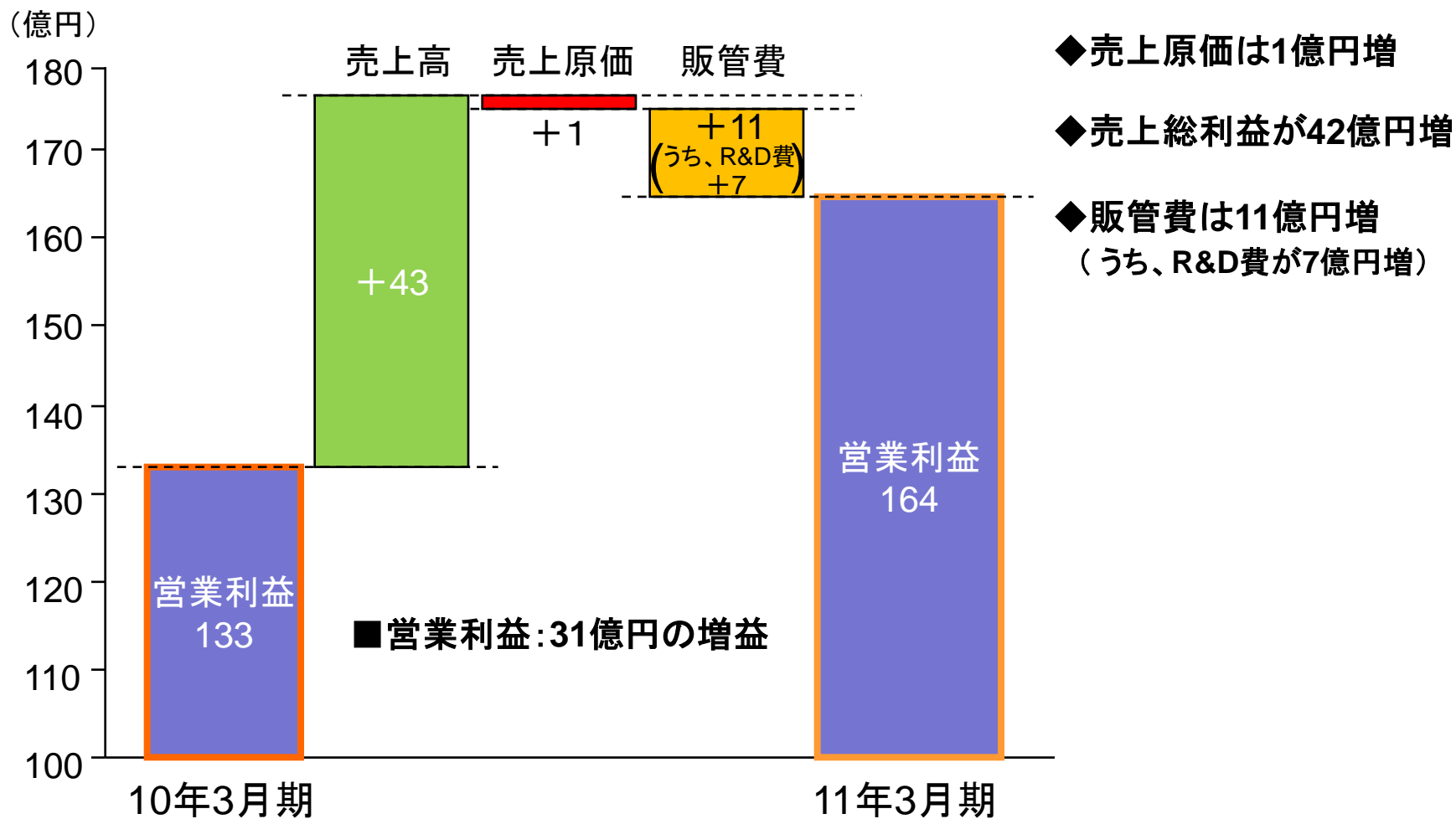
【利益】 売上増加、売上原価率の低下により、売上総利益の増加を見込みますが、研究開発費を含む販売費及び一般管理費の増加が予想され、営業利益は166億円(前年比1.0%増)、当期純利益は109億円(前年比△0.3%減)となる見込みです。

(単位:百万円)	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	前年比
売上高	81,070	90,889	99,764	104,069	4.3%
営業利益	6,251	8,952	13,261	16,443	24.0%
経常利益	6,643	9,208	14,234	17,110	20.2%
当期純利益	2,189	2,037	8,848	10,927	23.5%
1株当たり 当期純利益(円)	29.26円	27.24円	118.37円	146.21円	23.5%
総資産	122,398	124,552	137,190	147,234	7.3%
純資産	97,184	96,501	104,911	111,706	6.5%

12年3月期 (予想)	前年比
106,500	2.3%
16,600	1.0%
17,200	0.5%
10,900	△0.3%
145.86	△0.2%
—	—
—	—

2011年3月期 業績のポイント

■売上高:薬価改定(杏林製薬:6%台)を吸収し、前年比43億円増



2011年3月期 業績の状況

(単位:億円)	10年3月期 (実績)	11年3月期 (実績)	対前年
売上高合計	998	1,041	43
■医薬品事業	964	1,013	49
◆新医薬品	824	880	56
○国内	798	853	55
○海外	26	27	1
◆後発医薬品	86	89	3
◆一般用医薬品他	54	44	△10
■ヘルスケア事業 (スキンケア)	33	28	△5

営業利益	133	164	31
経常利益	142	171	29
当期純利益	88	109	21

(注1) 当期のセグメント【ヘルスケア事業】に属する製品・サービスの内容は、2010年3月期決算までの開示内容と異なっております

	11年3月期実績	対前年
■売上高	1,041億円	(43)
◆医薬品事業	1,013億円	(49)
●国内新医薬品	853億円	(55)
	[10.3実績] [11.3実績]	
・キプレス	292 ⇒ 345	(53)
・ムコダイン	209 ⇒ 213	(4)
・ペンタサ	194 ⇒ 194	(0)
・ウリトス	37 ⇒ 55	(18)
●海外新医薬品	27億円	(1)
・ガチフロキサシン	22 ⇒ 22	(0)
●後発医薬品	89億円	(3)
* 保険調剤薬局市場での販売等が好調に推移 (決算期変更:2010年3月期の連結対象期間は14ヶ月)		
●一般用医薬品他	44億円	(△10)
* キョーリンメディカルサプライ(旧:杏文堂)の売上減 (決算期変更:2010年3月期の連結対象期間は13ヶ月)		
(注)2010年度より適用する報告セグメントにおいて当該売上区分にキョーリンメディカルサプライを含みます。		
◆ヘルスケア事業	28億円	(△5)
●ドクタープログラムの売上減少		
■営業利益	164億円	(31)
◆営業利益率は15.8%と2.5ポイント上昇		
●原価率は1.5ポイント低下 (37.6%⇒36.1%)		
上昇要因:薬価改定(6%台)		
低下要因:原価率の低い自社製品の売上増加、キョーリンリメディオの原価率低下		
●研究開発費率:前年比0.2ポイント上昇 (11.8%⇒12.0%)		
* 118億円⇒125億円(約7億円増加)		
開発パイプラインの進展(KRP-108 Ph2b終了)、導入一時金など		
●販管費率(除R&D費):前年比1.2ポイント低下 (37.3%⇒36.1%)		
* 372億円⇒376億円(約4億円増加)		
■当期純利益	109億円	(21)
■配当 45円00銭/株(うち、中間配当10円/株 配当性向30.8%)		

主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬	2010年3月期	2011年3月期
売上高	853	925
営業利益	131	156
当期純利益	95	107

2012年3月期(予想)
951
157
104

キョーリンリメディオ	2010年3月期	2011年3月期
売上高	101	103
営業利益	4	8
当期純利益	4	6

2012年3月期(予想)
110
7
7

ドクタープログラム	2010年3月期	2011年3月期
売上高	33	28
営業利益	△1	1
当期純利益	△1	1

2012年3月期(予想)
30
1
0

開発品一覧①(2011年5月11日現在)

Ph II b ~ 申請中

※: 前回(2011年3月期 第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph III (09年12月)		ペンタサ (錠剤)	潰瘍性大腸炎	フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法・用量 (1日1回投与)	
Ph III (10年11月)		ペンタサ (坐剤)	潰瘍性大腸炎	フェリング社	活動期潰瘍性大腸炎を対象とした新剤型 (1日1回投与)	新剤型の開発
Ph III (10年8月)	(米国) スカイファーマ : 申請中(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 申請中(10年3月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作動型β作動薬の配合剤で利 便性やコンプライアンスに優れる	・スカイファーマ社とライセン ス契約(08年4月) ・国内Ph II 終了(10年4月)
Ph II (05年3月)	エーザイ: Ph III	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞 内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害 を改善する	・大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ) ・国内Ph II 終了(11年3月) ※
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑え ることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が 少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b 終了(11年3月) ※ ・国内Ph II b 終了(10年3月)

その他の事項

・過活動膀胱治療剤「ウリトスOD錠0.1mg(イミダフェナシン(一般名)の口腔内崩壊錠)」 : 2011年4月発売 ※

開発品一覧②(2011年5月11日現在)

POCプロジェクト(前臨床～PhⅡ)

※: 前回(2011年3月期 第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph I 準備中		KRP-AM1977X ※ (経口剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社	①薬剤耐性グラム陽性菌(MRSAを含む)に対して優れた抗菌力 ②優れた体内動態(経口吸収、組織移行) ③前臨床試験で安全性はクリアー、高い安全性が期待	
Ph I 準備中		KRP-AM1977Y ※ (注射剤)	ニューキノロン系合成抗菌剤	自社		
臨床試験準備中	(欧州) アルミラール社 :申請準備中 (米国) フォレスト社 :申請準備中	KRP-AB1102 ※ (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	アルミラール社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさなどの諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬。 ①全身性副作用が少ない ②1日2回投与により1日を通じて症状、呼吸機能改善 ③最大効果発現までの時間が短い	アルミラール社とライセンス契約(11年2月)
	Ph I (10年8月)	KRP-110	オピオイド誘発性便秘 難治性掻痒	自社	選択性の高いμオピオイド受容体拮抗薬。オピオイド鎮痛薬の鎮痛作用には影響することなく、副作用の便秘を改善することが期待される。また、種々の掻痒モデルにおいて掻き行動の抑制作用が確認されており、難治性掻痒の改善が期待される。	
Ph I (10年12月)	PhⅡ(POC) (10年12月) (ノバルティス)	KRP-203	自己免疫疾患、臓器移植 IBD	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティスとライセンス契約(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
PhⅡ 準備中	PhⅢ メルツ社	KRP-209	耳鳴	メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約(09年11月) メルツ社:日本人を対象とした米国でのPh Iを終了(10年3月)

開発品一覧③(2011年5月11日現在)

導出品の状況

※: 前回(2011年3月期 第3四半期)からの変更点を示す

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	申請中 ※ (11年3月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外Ph II (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造 販売権を供与(04年10月) 08年4月 Ph II の結果を公表
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外Ph III (気管支喘息: 06年11月) 海外Ph II / III (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎: 07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息: 海外Ph III 一旦停止
KRP-203	スイス ノバルティス	海外Ph II (POC) (10年12月)	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD	自社	・移植用の免疫調節剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(06年2月) 新たなライセンス契約 IBD(10年11月)

2011年3月期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

(単位:億円)	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	1,041	43	164	31
■医薬品事業 計	1,013	49	163	31
◆新医薬品	880	56		
○国内	853	55		
○海外	27	1		
◆後発医薬品	89	3		
◆一般用医薬品他	44	△10		
■ヘルスケア事業 計	28	△5	1	3
調整額	—	—	0	△3

損益計算書の概要：連結一①

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	99,764	100.0%	104,069	100.0%	4.3%	4,304
■医薬品事業	96,422	96.6%	101,271	97.3%	5.0%	4,848
◆新医薬品	82,395	82.6%	88,020	84.6%	6.8%	5,624
○国内	79,766	80.0%	85,284	81.9%	6.9%	5,517
○海外	2,629	2.6%	2,736	2.6%	4.1%	107
◆後発医薬品	8,642	8.7%	8,871	8.5%	2.7%	229
◆一般用医薬品他	5,384	5.4%	4,378	4.2%	△18.7%	△1,005
■ヘルスケア事業	3,342	3.3%	2,797	2.7%	△16.3%	△ 544

<当期のポイント>

対前年

- 売上高 104,069百万円 (4,304百万円)
- 国内新医薬品 85,284百万円 (5,517百万円)
〔前期実績〕〔当期実績(億円)〕
 - ・キプレス 292 → 345 (53)
 - ・ムコダイン 209 → 213 (4)
 - ・ペンタサ 194 → 194 (0)
 - ・ウリトス 37 → 55 (18)
- 海外新医薬品 2,736百万円 (107百万円)
 - ・ガチフロキサシン 22 → 22 (0)
- 後発医薬品 8,871百万円 (229百万円)
 - * 保険調剤薬局市場での販売が好調
- 一般用医薬品他 4,378百万円 (△1,005百万円)
 - * 主にキョーリンメディカルプライ(旧：杏文堂)の売上減
- ヘルスケア 2,797百万円 (△ 544百万円)
 - ・ドクタープログラムの売上減
33 → 28 (△5)

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社 7 社：杏林製薬（株）
Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH
ActivX Biosciences, Inc.
キョーリンリメディオ（株）
ドクタープログラム（株）
キョーリンメディカルサプライ（株）

持分法適用会社 1 社：日本理化学薬品（株）

損益計算書の概要：連結一②

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	99,764	100.0%	104,069	100.0%	4.3%	4,304
売上原価	37,477	37.6%	37,554	36.1%	0.2%	76
売上総利益	62,287	62.4%	66,514	63.9%	6.8%	4,227
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	49,025 (11,807)	49.1% 11.8%	50,071 (12,495)	48.1% 12.0%	2.1% 5.8%	1,046 (688)
営業利益	13,261	13.3%	16,443	15.8%	24.0%	3,181
営業外収益	1,092	1.1%	769	0.7%	△ 29.6%	△ 323
営業外費用	120	0.1%	102	0.1%	△ 14.9%	△ 17
経常利益	14,234	14.3%	17,110	16.4%	20.2%	2,875
特別利益	49	0.0%	141	0.1%	189.0%	92
特別損失	301	0.3%	115	0.1%	△ 61.8%	△ 186
税金等調整前 当期純利益	13,982	14.0%	17,136	16.5%	22.6%	3,154
法人税・住民税 及び事業税	5,518	5.5%	5,944	5.7%	7.7%	425
法人税等調整額	△ 385	△ 0.4%	265	0.3%	△ 168.9%	650
少数株主損益調整前 当期純利益	—	—	10,927	10.5%	—	10,927
当期純利益	8,848	8.9%	10,927	10.5%	23.5%	2,078

<当期のポイント>

対前年

◆原価率：前年比1.5ポイント低下 (37.6%⇒36.1%)

* 上昇要因：薬価改定(6%台)

* 低下要因：原価率の低い自社製品の売上増加、キョーリン リメディオの原価率低下

◆研究開発費率：前年比0.2ポイント上昇

* 118億円⇒125億円(約7億円増加) (11.8%⇒12.0%)

◆販管費率(除R&D費)：前年比1.2ポイント低下

* 372億円⇒376億円(約4億円増加) (37.3%⇒36.1%)

* 販管費(除R&D費)は増加したものの、売上増加により販管費率(除R&D)は1.2ポイント低下

■営業利益 164億円

◆営業利益率は15.8%と2.5ポイント上昇

■当期純利益 109億円

■配当 45円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位:百万円)	10年3月期	
	実績	構成比
流動資産	91,060	66.4%
現金および預金	20,193	
受取手形及び売掛金	36,859	
有価証券	5,353	—
棚卸資産	21,874	
その他流動資産	6,779	
固定資産	46,129	33.6%
有形固定資産	15,825	
無形固定資産	1,024	—
投資その他	29,278	
資産合計	137,190	100.0%

流動負債	26,198	19.1%
支払手形及び買掛金	9,858	
その他流動負債	16,340	—
固定負債	6,079	4.4%
負債合計	32,278	23.5%
株主資本	104,907	76.5%
その他の包括利益累計額	3	0.0%
その他有価証券評価差額金	138	
為替換算調整勘定	△134	
純資産合計	104,911	76.5%
負債及び純資産合計	137,190	100.0%

11年3月期		
実績	構成比	前期末増減
104,427	70.9%	13,366
25,518		
42,594		
6,976	—	—
20,364		
8,973		
42,806	29.1%	△3,322
14,916		
816	—	—
27,073		
147,234	100.0%	10,044

30,421	20.7%	4,223
10,852		
19,569	—	—
5,105	3.5%	△ 974
35,527	24.1%	3,249
112,076	76.1%	7,168
△370	△0.3%	△ 373
△137		
△232		
111,706	75.9%	6,795
147,234	100.0%	10,044

<当期のポイント>

- 流動資産： 13,366百万円増
 - ・現金、預金の増加 (5,324百万円増)
 - ・受取手形、売掛金の増加 (5,734百万円増)
 - ・棚卸資産の減少 (1,509百万円減)
- 固定資産： 3,322百万円減
 - ・有形固定資産の減少 (909百万円減)
 - ・無形固定資産の減少 (207百万円減)
 - ・投資その他の減少 (2,205百万円減)
- 流動負債： 4,223百万円増
 - ・支払手形、買掛金の増加 (993百万円増)
 - ・その他流動負債の増加 (3,229百万円増)
- 固定負債： 974百万円減

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>

(単位:百万円)	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期		12年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	8,609	10,826	10,531	11,807	12,495	5.8%	13,400
設備投資	2,954	1,952	1,612	1,291	1,668	29.2%	2,500
減価償却費	4,544	4,536	3,799	2,810	2,458	△12.5%	2,700

<設備投資の状況(実績／予想)>

(実績)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

11年3月期実績

9億円

3億円

5億円

12年3月期予想

(予想)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

13億円

7億円

5億円

2011年3月期 主要製品売上の状況

(単位:億円)

		07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期		12年3月期 (予想)
						実績	前 同 比	
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	150	191	252	292	345	18.3%	365
	ムコダイン (気道粘液調整・粘膜正常化剤)	204	212	206	209	213	1.7%	221
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	80	88	157	194	194	0.1%	192
	ウリトス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	—	7	20	37	55	48.4%	66
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	58	54	50	46	40	△13.1%	38
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	32	30	25	22	22	0.2%	12
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳びん・乳首消毒剤)	21	19	18	19	19	1.5%	20

主な業績項目の推移: 連結

(単位: 百万円)	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	77,093 (5,762)	81,070 (4,367)	90,889 (3,830)	99,764 (2,693)	104,069 (2,784)	106,500 (1,700)
売上原価 (売上原価率)%	30,620 (39.7%)	31,757 (39.2%)	36,791 (40.5%)	37,477 (37.6%)	37,554 (36.1%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	38,059 (49.4%)	43,061 (53.1%)	45,146 (49.7%)	49,025 (49.1%)	50,071 (48.1%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	8,609 (11.2%)	10,826 (13.4%)	10,531 (11.6%)	11,807 (11.8%)	12,495 (12.0%)	13,400 (12.6%)
営業利益 (営業利益率)%	8,413 (10.9%)	6,251 (7.7%)	8,952 (9.8%)	13,261 (13.3%)	16,443 (15.8%)	16,600 (15.6%)
経常利益 (経常利益率)%	8,655 (11.2%)	6,643 (8.2%)	9,208 (10.1%)	14,234 (14.3%)	17,110 (16.4%)	17,200 (16.1%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,842 (6.3%)	2,189 (2.7%)	2,037 (2.2%)	8,848 (8.9%)	10,927 (10.5%)	10,900 (10.2%)
一株当たり当期利益(円)	64.97円	29.26円	27.24円	118.37円	146.21円	145.86
資本金	700	700	700	700	700	
総資産	124,039	122,398	124,552	137,190	147,234	
株主資本	96,922	96,401	97,513	104,907	112,076	
純資産	98,178	97,184	96,501	104,911	111,706	
一株当たり純資産(円)	1,311.17円	1,298.89円	1,290.67円	1,403.60円	1,494.83円	
自己資本利益率%	5.0%	2.2%	2.1%	8.8%	10.1%	
自己資本比率%	79.2%	79.4%	77.5%	76.5%	75.9%	
人員(人)	1,932人	2,003人	2,247人	2,246人	2,294人	
設備投資	2,954	1,952	1,612	1,291	1,668	2,500
減価償却費	4,544	4,536	3,799	2,810	2,458	2,700

損益計算書の概要：杏林製薬単体①

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	85,308	100.0%	92,531	100.0%	8.5%	7,222
■医薬品事業	85,308	100.0%	92,531	100.0%	8.5%	7,222
◆新医薬品	82,330	96.5%	87,927	95.0%	6.8%	5,596
○国内	79,766	93.5%	85,284	92.2%	6.9%	5,517
○海外	2,563	3.0%	2,642	2.8%	3.1%	79
◆後発医薬品	394	0.5%	1,932	2.1%	389.7%	1,537
◆一般用医薬品他	2,583	3.0%	2,671	2.9%	3.4%	88

<当期のポイント>

対前年

- 売上高 92,531百万円 (+7,222百万円)
- 国内新医薬品 85,284百万円 (+5,517百万円)
10.3実績 11.3実績(億円)
 - ・キプレス 292 → 345 (+53)
 - ・ムコダイン 209 → 213 (+4)
 - ・ペンタサ 210 → 194 (+0)
 - ・ウリトス 37 → 55 (+18)
- 海外新医薬品 2,642百万円 (+79百万円)
 - ・ガチフロキサシン 22 → 22 (+0)
 - ・導出一時金
- 後発医薬品 1,932百万円 (+1,537百万円)
 - ・主にキョーリンが、物流統合による影響
- 一般用医薬品他 2,671百万円 (+88百万円)
 - ・ミルトンおよびOTCの増加

損益計算書の概要：杏林製薬単体一②

(単位:百万円)	10年3月期		11年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	85,308	100.0%	92,531	100.0%	8.5%	7,222
売上原価	28,374	33.3%	31,227	33.7%	10.1%	2,852
売上総利益	56,934	66.7%	61,304	66.3%	7.7%	4,369
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	43,795 (11,121)	51.3% (13.0%)	45,658 (11,867)	49.3% (12.8%)	4.3% (6.7%)	1,863 746
営業利益	13,139	15.4%	15,645	16.9%	19.1%	2,506
営業外収益	1,497	1.8%	1,138	1.2%	△ 24.0%	△ 359
営業外費用	56	0.1%	54	0.1%	△ 4.5%	△ 2
経常利益	14,580	17.1%	16,729	18.1%	14.7%	2,149
特別利益	37	0.0%	127	0.1%	236.3%	89
特別損失	112	0.1%	80	0.1%	△ 28.4%	△ 32
税引前当期純利益	14,506	17.0%	16,776	18.1%	15.7%	2,270
法人税・住民税 及び事業税	5,452	6.4%	5,856	6.3%	7.4%	403
法人税等調整額	△ 419	△ 0.5%	187	0.2%	△ 144.8%	607
当期純利益	9,472	11.1%	10,732	11.6%	13.3%	1,259

＜当期のポイント＞

対前年

◆原価率：前年比0.4ポイント増加 (33.3%⇒33.7%)

* 上昇要因：薬価改定(6%台)

* 低下要因：原価率の低い自社製品の売上増加

◆研究開発費率：前年比0.2ポイント減少

(13.0%⇒12.8%)

* 111億円⇒119億円(7億円増加)

◆販管費率(除R&D費)：前年比1.8ポイント減少

(38.3%⇒36.5%)

* 327億円⇒338億円(約11億円増加)

■営業利益 156億円

◆営業利益率は16.9%と1.5ポイント上昇

■当期純利益 107億円

貸借対照表の概要：杏林製薬単体

(単位:百万円)	10年3月期	
	実績	構成比
流動資産	78,422	65.4%
現金および預金	15,313	
売掛金	33,088	
有価証券	5,290	—
棚卸資産	19,147	
その他流動資産	5,581	
固定資産	41,400	34.6%
有形固定資産	12,847	
無形固定資産	328	—
投資その他	28,225	
資産合計	119,822	100.0%

11年3月期		
実績	構成比	前期末増減
84,458	68.9%	6,036
15,123		
39,184		
6,913	—	—
16,739		
6,498		
38,202	31.1%	△3,197
11,894		
235	—	—
26,073		
122,661	100.0%	2,838

流動負債	19,003	15.9%
支払手形及び買掛金	6,849	—
その他流動負債	12,154	
固定負債	5,312	4.4%
負債合計	24,316	20.3%
株主資本	95,384	79.6%
評価・換算差額等	120	0.1%
純資産合計	95,505	79.7%
負債及び純資産合計	119,822	100.0%

22,723	18.5%	3,719
7,050	—	—
15,673		
4,364	3.6%	△ 948
27,087	22.1%	2,771
95,719	78.0%	335
△146	△0.1%	△ 267
95,573	77.9%	67
122,661	100.0%	2,838

<当期のポイント>

■ 流動資産： 6,036百万円増
 ・売掛金の増加 (6,095百万円増)
 ・有価証券の増加 (1,622百万円増)
 ・棚卸資産の減少 (2,408百万円減)

■ 固定資産： 3,197万円減
 ・有形固定資産の減少 (952百万円減)
 ・投資その他の減少 (2,151百万円減)

■ 流動負債： 3,719百万円増
 ・支払手形及び買掛金の増加 (201百万円増)
 ・その他流動負債の増加 (3,518百万円増)

■ 固定負債： 948百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬単体

(単位:百万円)	07年3月期	08年3月期	09年3月期	10年3月期	11年3月期	12年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	66,052 (5,521)	70,480 (4,155)	77,962 (3,148)	85,308 (2,563)	92,531 (2,642)	95,100 (1,600)
売上原価 (売上原価率)%	23,815 (36.1%)	25,217 (35.8%)	29,551 (37.9%)	28,374 (33.3%)	31,227 (33.7%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	34,623 (52.4%)	38,319 (54.4%)	39,894 (51.2%)	43,795 (51.3%)	45,658 (49.3%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	8,216 (12.4%)	9,959 (14.1%)	10,056 (12.9%)	11,121 (13.0%)	11,867 (12.8%)	12,500 (13.2%)
営業利益 (営業利益率)%	7,613 (11.5%)	6,942 (9.8%)	8,517 (10.9%)	13,139 (15.4%)	15,645 (16.9%)	15,700 (16.5%)
経常利益 (経常利益率)%	7,615 (11.5%)	7,328 (10.4%)	9,463 (12.1%)	14,580 (17.1%)	16,729 (18.1%)	16,700 (17.6%)
当期純利益 (当期純利益率)%	4,697 (7.1%)	3,776 (5.4%)	4,041 (5.2%)	9,472 (11.1%)	10,732 (11.6%)	10,400 (10.9%)
一株当たり当期利益(円)	63.25円	50.85円	54.42円	127.54円	144.51円	
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	
総資産	106,042	104,910	108,522	119,822	122,661	
株主資本	85,706	86,140	89,328	95,384	95,719	
純資産	86,797	86,792	88,470	95,505	95,573	
一株当たり純資産(円)	1,168.71円	1,168.63円	1,191.24円	1,285.95円	1,286.87円	
自己資本利益率%	5.2%	4.4%	4.6%	10.3%	11.2%	
自己資本比率%	81.9%	82.7%	81.5%	79.7%	77.9%	
人員(人)	1,488人	1,517人	1,716人	1,724人	1,804人	
設備投資	1,322	1,350	969	1,051	1,019	1,700
減価償却費	3,997	3,844	3,042	2,198	1,968	2,000